

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援事業所bamboo		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2025年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職による個別的な支援	・専門的な支援において、論文や書籍など科学的な情報をもとに支援を行うよう意識的に行っている。 ・客観的な評価の実施により、発達段階に応じた支援の提供が行える。	・より積極的に情報をアップグレードしていき、専門性に特化した支援の提供を図る。 ・主に各専門職による研修会の提供により、支援の質向上を図る。
2	・他職種連携	・活動前後で、各専門職で活動内容を共有する時間を設けており、各視点から支援内容の見直し、周知を行っている。また、見直しにおいては、当日～次日までには必ず実施し、次回利用時の支援に反映できるように実施している。	・必要に応じて、児をより細かく話し合うような場や事例検討会(事例に応じた話し合い)を、利用児個人ごとに行う時間を設けることで一定の支援に繋がりやすいと思われる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他職種連携が強みである分、それぞれの職種・業種で専門にしてきた分野や学習、用いられる語彙に個人差があり、コミュニケーション用語の統一が難しい。	・それぞれが行ってきたことの経験差や方法等に違いがある。それはこれまでの経験による差であることから、事業所内でどのように統一した方法や考えを周知することが課題であると思われる。	・定期的な研修会の実施により、共通認識や共通理解のもと、進められる支援を増やしていくこと。現在、月に1回程度のペースで研修会を実施しているが、分野や領域を広げながら理解出来る語彙や言葉の中で共有を図っていきたい。
2			
3			